

寫  
「のらくら學生戀愛日記」帝キネ富澤進  
太郎作品。右より小川秀磨と草間實。



◇のらくら學生戀愛日記

帝キネ現代映畫

原作並脚色者

山内英三

監督者

富澤進太郎

撮影者

菊池圭三

——主要役割——

書生松川

草間實

同吉田

上代勇吉

同高田

箕代俊郎

娘きぬ

月村節子

踊り師春代

阪東勝代

解説——富澤進太郎氏の「寛永蛙騒動」に次ぐ作品である。

略筋——松川、汐見、淺山は揃ひも揃つた二人組ののらくら學生、一つの下宿に一月と尻が落付かず入學以來、引越しの敷を重ねること無慮十六回、やつと見付けた素人下宿の前に計らずも松川が引越の途中に見染めた町子の家があつた。町子は踊りの上手な下町の小町娘で、それに感化されて松川は心氣一轉して踊りの稽古に通つたが、好事覺多く軍教の時間に落した舞扇を教師に見付けられて、停學處分を受け、遂に稽古を斷念しなければならなかつた。日に増しこの町子戀しさに松川は柄にもなく身も心も細つて行くうち、思ひがけなく町子には自分の同窓の君島と云ふ戀人のあることを知つて彼は失戀の惱の絶へやらず下宿を引拂つて悄然と去つて行くのであつた。